

「生涯活躍のまち」上士幌版基本構想 イメージ図

平成29年度地方創生推進交付金による町委託事業

- 24時間365日ケアの検討、医療・介護情報の一元化検討、介護人材の養成・確保など
 - 先進事例調査、スタッフ募集と教育、仕事発注元募集、センター設立など
 - アクティブシニア向けの移住セミナーや相談会を開催するほか、希望者による現地見学会実施
 - 本町の中高齢者が、その経験や技能を活かして活躍するための「学びの場」についてニーズ調査を実施し、指導体制やカリキュラムを検討する。
- <想定> 農業(家庭菜園、食品加工など) 体育(熱気球や登山など実施可能なアウトドア) 保健福祉(地域貢献ボランティア、認知症予防、家庭料理)「教養」など

まちづくり会社
 役割: 各種事業プロデュース
 <下記、町の委託事業からスタート>

- 地域包括ケア事業
- 人材センター事業
- 移住希望者募集事業
- 生涯学習大学事業
- 社会福祉法人設立
- その他事業

町の総合戦略の具現化のために町と連携し、関係者を取りまとめ、事業化に向けてのリーダーシップをとり、全体を引っ張っていく役割を担う。
 町づくり会社独自の事業も実施する。

社会福祉法人
 役割: 各種事業実施
 * グループホーム(障がい者)の設立・運営
 * 総合相談窓口

「健康で安心して暮らせるまち」を基本理念とし、健康寿命の延伸と自らが望む住まいで安心して生活ができる生きがいあるまちづくりを進める。このため、障がい者事業・高齢者事業、高齢者や町民による生活支援などを通して、「自助」「互助」「共助」により自立した日常生活を送れる体制を地元事業者と協力し整備していく。
 (設立運営: H31年度以降予定)

9ha町有地

第2ステップとして
 サービス付き高齢者住宅
 * 入居者の見込みが立った段階で実施 (H31年度以降予定)
 事業主体まちづくり会社(予定)
 * 地域交流拠点施設
 * 学生寮等

移住関連団体

交通拠点ネットワーク

- * ふれあいプラザ
 - ・総合相談窓口
 - ・レストラン・カフェ・町民居酒屋
 - ・販売所
- * 生涯学習センター
- * スポーツセンター
- * 認定こども園

第1ステップとして
 * まちなか高齢者住宅整備
 * 体験住宅整備

商工会
 ・まちなか空き家活用

人材センター
 仕事コーディネーター

地域包括支援センター
 +
 社会福祉協議会

地元事業所

障がい者就労支援
 高齢者等の仕事づくり

加工・販売

農業分野との連携による就労の場の確保

小さな拠点を核にした福祉活動拠点の形成

遊休施設の活用による食生活改善、生きがい、ちょっと仕事づくり、多世代交流

福祉人材の創出
 (移住者・学生)

クリニック

医療・介護 情報の一元化

道の駅

自治体

連携

連携

連携

